

学校名		佐賀県立唐津東中学校		
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上については、学力推移調査の結果と11の方策の数値設定に差があり、どの学年も苦戦している。その中では1年生が底上げに成功し、成果を上げている。次年度以降は現状を分析し、計画の段階から効果的方策を模索し、結果に結びつけたい。</li> <li>心の教育については、社会性を高め、自らを律し、相手を思いやる心の教育を目指し取り組んできた結果を残せた。いじめの早期発見、早期対応を概ね実行できた。特に人間関係の複雑さや生徒自身の特性の問題などから対応が難しい面があった。</li> <li>グローバルな活躍を目指す生徒、旺盛なチャレンジ精神を持った生徒の育成に取り組み、各種行事等を計画通りに実行することができた。また、海外研修にも積極的に参加する生徒等、多くの生徒が校外活動においてもチャレンジした。次年度もさらに発展させたい。</li> <li>健康・体づくりについては、「ほけんだより」を中心に定期・不定期にタイムリーな呼びかけ、注意喚起を行えた。</li> <li>業務改善・教職員の働き方改革の推進や部活動の休養日については、その意義を周知し、実践に結びつけることができた。行事の精選、業務量の削減や校務の平準化を実行し、時間外在校時間の縮減と労働環境の改善に取り組む。</li> </ul>			
2 学校教育目標 SAGAスクール・ ミッション	<p><b>〇北部地区の県立中高一貫教育校として、これからの時代を見据えた6年間のカリキュラムに基づく教育実践を更に充実させる。</b></p> <p><b>〇120年以上の歴史を持つ唐津市の伝統校として、地域の行政機関や各学校、地域の方々と連携した活動の中で、高い志と主体的に生きる力を身に付け、地域や国際社会の発展に貢献できる逞しい人材を育成する。</b></p>			
3 本年度の重点目標	<p>①生徒一人ひとりの進路希望の実現</p> <p>②わかる授業実践と授業改善への取組</p> <p>③社会性を高め、自らを律し、相手を思いやる心の教育の充実</p> <p>④グローバル人材、チャレンジ精神を持った生徒の育成</p>			
4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				
	重点取組		具体的な取組	主な担当者
●学力の向上	<p>○全職員による共通理解と共通実践・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践</p> <p>○学力の向上</p>	<p>○学力向上対策評価シートにおいて、共通実践を共有しマイプランの成果指標を適切に設定し、達成できるように努めた教師を80%以上にする。</p> <p>○全国模試の学力推移調査において、benesseの指標A1以上の生徒を中1は20名以上、中2は30名以上、中3は20名以上にする。</p> <p>○「家庭学習は十分にできている」について肯定的な回答をした生徒を80%以上にする。</p>	<p>・生徒一人ひとりの進路希望実現を目指した成果指標となるマイプランを作成する。</p> <p>・学習状況調査の結果を検討し、生徒の到達度を中学職員間で共有する。</p> <p>・各学年、教科でわかる授業の実践に取り組み、効果的な授業改善を行う。</p> <p>・中高6年間を見通した指導計画を立て、計画的に家庭学習に取り組ませる。</p> <p>・学力推移調査や学習状況調査の結果を集約し、学力分析会を実施し、結果の共有と課題の洗い出しを行う。</p>	<p>・進路指導</p> <p>・進路指導</p>
●心の教育	<p>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</p> <p>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</p> <p>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動</p>	<p>○道徳アンケートを1月に実施し、「人との関わりに関すること」と「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の項目で肯定的な回答をした生徒を80%以上にする。</p> <p>○いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等についての取組、事業対処等）について組織的対応ができていないと回答した教職員を90%以上にする。</p> <p>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上</p> <p>●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒80%以上</p>	<p>・「生命を大切にすること」「自他を認め合う」ことを重点目標とし、人権教育と連携する。</p> <p>・職員室の道徳コーナーを活用し、各学年で教材の共有を行い、学校全体で「考え、議論する道徳」の授業実践に取り組む。</p> <p>・いじめに関する教職員研修を実施する。</p> <p>・「生徒理解協議会」で生徒の様子などの情報を共有し、「いじめの未然防止の取組」「いじめの早期発見の取組」に努める。</p> <p>・いじめに関するアンケートを実施し、いじめの早期発見につなげる。</p> <p>・生徒の思いや状況を的確に把握し、くみ取りながら適切な声かけや支援・指導をとおして自発的な成長を促すことで生徒との信頼関係を築く</p> <p>・キャリアに関する講演会や体験的活動をとおして、自分自身をみつめ、将来のあり方を自ら探る探究的活動の機会を設ける。</p> <p>・外部講師や先輩の話を聞く機会を設けたり、地域や外部との連携を深めながら将来の夢や目標を実現するための手立てを考える機会を設ける。</p> <p>・校外での体験活動を奨励し、ボランティア活動や地域での活動に積極的に参加できるようにする。</p>	<p>・総務(道徳担当)</p> <p>・生徒指導</p> <p>・総務 ・進路指導</p>
●健康・体づくり	<p>●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」</p>	<p>○「健康に良い食事をしている」生徒80%以上</p>	<p>・「ほけんだより」等をとおして、食育に関する情報を提供する。</p> <p>・学級や部活動等において様々な機会を見つけ、食に関する話を行うことで、生徒の食に関する意識を高める。</p> <p>・家庭科や保健体育科で食に関連する学習を行い、そこで学習したことを他教科や行事などで喚起できるようにする。</p> <p>・生徒の委員会活動で、食育に関する活動を入れる。</p>	<p>・保健厚生</p>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<p>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</p> <p>○労働環境の改善</p>	<p>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</p> <p>○「作業管理や作業環境等労働環境が改善された」と回答した教職員を80%以上にする。</p>	<p>・時間外在校時間の上限を周知する。</p> <p>・定時退勤日、学校閉庁日を設定する。</p> <p>・職員の在校時間を把握し、必要に応じて面談を行う。</p> <p>・部活動について効果的かつ十分な休養日を設定する。</p> <p>・データの共有を促進してペーパーレス化に努めることによって効率化を図る。</p> <p>・ICT活用を促進する。特に調査やアンケートをネットや支援ソフトを使って行う回数を増やす。</p>	<p>副校長</p> <p>副校長</p>
●特別支援教育の充実	<p>○(学校独自重点取組・任意)特別支援教育の理解を促進し、教育相談との融合を図る</p>	<p>○(学校独自成果指標・任意)発達障害や学習障害等の領域を含めて生徒理解が深まったとする職員80%以上</p>	<p>・学期に一回以上、特別支援教育校内委員会を持つ。</p> <p>・学期に1回以上、生徒理解協議会を開催する。その際、発達障害や学習障害についての情報共有や対応について協議する。</p> <p>・職員研修を学期に1回は実施する。</p> <p>・先進的で合理的な取り組みの情報を共有する。</p>	<p>保健厚生 副校長</p>